

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-141	15-310	慶應義塾大学
題名 (原題/訳)		
Effectiveness of brief interventions in primary health care settings to decrease alcohol consumption by adult non-dependent drinkers: a systematic review of systematic reviews. 依存のない成人アルコール飲用者にアルコール消費を減少させるためのプライマリーヘルスケアでの短期介入の効果：系統的レビューの系統的再調査		
執筆者		
Álvarez-Bueno C, Rodríguez-Martín B, García-Ortiz L, Gómez-Marcos MÁ, Martínez-Vizcaíno V.		
掲載誌		
Prev Med. 2015 Jul;76 Suppl:S33-8. doi: 10.1016/j.ypmed.2014.12.010. Epub 2014 Dec 13.		
キーワード		PMID:
患者教育、予防、プライマリーヘルスケア		25514547
要 旨		
<p>目的：</p> <p>アルコール依存症でない成人の飲用者でアルコール消費を減少させるためにプライマリーヘルスケア設定での短期介入の効果を評価すること。</p> <p>方法：</p> <p>英語とスペイン語で発表されて、EMBASE、MEDLINE (PubMed)、Web of Science、ScopusとCochrane Library (開始から2014年1月まで)でインデックスを付けられている無作為臨床試験の系統的レビューとメタアナリシスを系統的に再調査する。研究の質は、AMSTARの方法で調べた。</p> <p>結果：</p> <p>6つのメタアナリシスと1件の系統的レビューの計7つの研究(1999年から2011年まで発表された)が調査対象に含まれた。それらの研究は、設計、タイプと分析される介入期間、参加者、信頼できる専門家、結果に関してそれぞれ異なるものであった。5つの調査ではアルコール消費量の中等度の減少を報告し、4つは確立したリスク・レベルを上回って飲酒する患者数の減少を示した。</p> <p>結論：</p> <p>短期介入は過剰な量のアルコールを消費する人や過剰飲用する人々の間で、アルコール消費を減らすことにある程度の影響を及ぼす。そして、結果として、これらの介入は確立したリスクの範囲内でアルコールを飲む人々の数を増加させた。複数回の接触、または引き続いてのセッションをもつ短期介入が最も効果的であった。</p>		